

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃～85℃（注1）	保存温度範囲	-10℃～60℃（注2）	
	電 圧	AC 50 V	使用湿度範囲	相対湿度 95%以下（注3）	
	電 流	0.3 A	保存湿度範囲	40 % ～ 70 %（注2）	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	100 mA（DC 又は 1000 Hz）で測定する。	60 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	100 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的性	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 60 N 以下 引抜力 6.5 N 以上	○	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗： 70 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mm、 3 方向各 10 サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3方向各 3 回試験する。		○	—
	環境的性	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 70 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 100 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○
温度サイクル		温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→ 2～3 → 30→ 2～3 分 を 5 サイクル試験する。	○		—
耐熱性		温度 85℃中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 70 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
耐寒性		温度 -55℃中に 96 時間放置する。		○	—
塩水噴霧		濃度 5 % の塩水、48 時間放置する。	① 接触抵抗： 70 mΩ以下 ② はなはだしい腐食がないこと。	○	—
二酸化硫黄		濃度 10 ppm、96 時間放置する。 （試験規格：J I S C 0 0 9 0）		○	—
はんだ耐熱性		リフローの場合：ピーク温度 MAX 250℃ 220℃以上 60秒以内	外観の変形及び端子などに著しいガタがないこと	○	—
		はんだごての場合：こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内		○	—
はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだで濡れていること。	○	—	